

◎若い世代の目線に立った情報発信や、広報媒体にビジュアル（視覚）性を取り入れるなど、若い世代や子育て世代が興味を引くタウンプロモーションを展開します。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	町公式SNSで年間に投稿（発信）した件数 （毎年5月31日現在）	秘書広報課	回/年	227	250	250	A	新型コロナウイルス感染症に関する投稿が増えた。 （コロナ関連以外の投稿は100回／年以下。基準値にコロナ関連が含まれており、単純に比較できない）	住民との協働によるSNSを活用した情報発信事業	住民向けSNS研修	有り
				R2.5.31	R3.5.31						
2	町ホームページ年間閲覧数 （毎年3月31日現在）	秘書広報課	万PV/年	70	96	75	A	新型コロナウイルス感染症に関する情報収集などによる閲覧数が増えていると考えられる。 （コロナ関連との切り分けできない）	視覚的に操作しやすく、デザイン性のあるHPへのリニューアル 定住の促進に向けた情報誌の作成・配布 タウンプロモーション動画の作成 広報紙の特集ページのリニューアル・拡充（1－1－②）	ホームページリニューアル タウンプロモーション動画作成 広報紙リニューアル	有り
				R2.3.31	R3.3.31						
3	Instagramで#武豊町を付けて投稿された数	企画政策課	万件	3.0	3.6	3.3	A	・多くの人に「武豊町」という名称の意識づけができてきている。 ・他人と共有したい、教えた場所等が武豊町内で増えている。 ・情報発信を積極的に行う飲食店等が増えている。 ※住民・町外者や事業者の属性はデータが取れないため把握できない	子どもを連れて気軽に遊べる公園の充実とPR（1-2-①） 醸造文化を核とし、歴史的な価値を活かすまちづくり事業（2-2-①） まちの駅「味の蔵たけとよ」の魅力発信事業（2-2-①） まちの駅「味の蔵たけとよ」と屋内温水プールの一体利用促進（2-2-①） たけとよめし推進事業（2-2-②）	武豊中央公園等の整備 味の蔵たけとよでの定期的な特産品フェア 地域交流センター多目的広場整備工事 パンフレット等の作成	
				R2.11.24	R3.4.20						

施策 1－1－②まちへの愛着心の共有と増進

◎子どもや若い世代でも馴染みやすい共通のコミュニケーションツール等を作成・活用することで、町民のまちへの思いを共有し、愛着心の増進を図ります。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	「みそたろう」LINEスタンプ購入数（累計）	企画政策課	件	0	267	500	A	・使ってみたいと思う人が想定より多かった。 ※R2.12より販売	マスコットキャラクター「みそたろう」の活用推進	「みそたろう」ぬいぐるみ、「みそたろう」ピンバッチの販売、 町発行物等への「みそたろう」の積極的な活用	
				R2.11.1	R3.5 ?						
2	アンケート（中学生意識調査）にて「武豊町のことが好き」と答えた中学生の割合	企画政策課	%	86.2	—	90.0	—	—	総合戦略全体が関連	全て関連	
				H30	R3						
3	町公式YouTubeチャンネルの総再生回数 （累計）	企画政策課	回	55,449	63,819	105,000	A	・保育園で踊る等、閲覧する機会が多かったと思われる。 ※総再生回数の半数は保育園児向け ・町PRムービー（山車、ゆめころん等）の再生回数は全体の35% ・新型コロナウイルス感染症に関する動画の再生回数が含まれている	たけとよスマイル体操の普及啓発 タウンプロモーション動画の作成（1-1-①）	スマイル体操の普及・啓発 （憩いのサロン、体操サロン、保育園等） タウンプロモーション動画作成	有り
				R2.11.6	R3.5.11						

判定
A：増加している
B：現状維持・減少している（コロナ要因）
C：減少しており（コロナ以外の要因）改善が必要

施策 1－2－① 妊娠・出産・子育てに寄り添うまちづくりの推進

◎妊娠・出産・子育て中の家庭をサポートできる体制の強化や、小さい子どもを連れて気軽に憩える場を充実させ、妊娠・出産・子育てに寄り添うまちづくりを推進します。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	乳幼児健診（3か月児、1歳6か月児、3歳児）の問診で、「この地域で今後も子育てをしていきたい」と答えた割合	健康課	%	98.7	97.9	毎年98.7以上	B	コロナ禍における、外出自粛などによる影響が考えられる。	施策1-2 全て関連	施策1-2 全て関連	有り
				R1	R2						
2	アンケート（町民意識調査）における、0～18歳の子どもを持つ親の子育てしやすさに対する満足度	子育て支援課 （企画政策課）	%	44.4	－	50.0	－	－	施策1-2 全て関連	施策1-2 全て関連	
				H30	R3						
3	子育て支援センターの利用者数	子育て支援課	人/年	20,083	11,326	24,000	B	コロナ禍によるイベントの自粛等による減少と思われる	－	子育て支援センターだよりの発行 子育て支援センターでの各種イベントの開催 子育て支援センターの利用方法やイベント等のHP掲載	有り
				R1	R2						

施策 1－2－② 子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりの推進

◎子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりの推進のほか、男性の家事・育児参加への意識啓発等、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みます。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	0・1・2歳児保育の定員数	子育て支援課	人	334	334	361	B	現状において、待機児童がいないため	－	多種多様な利用ニーズの高まりに応じた運用方法の見直し 施設整備（東大高保育園建て替え）	
				R2.4.1	R3.4.1						
2	放課後児童クラブの定員数	子育て支援課	人	260	298	359	A	緑丘児童クラブ別棟新築工事の実施に伴う定員増によるもの	児童クラブの運営の充実	多種多様な利用ニーズの高まりに応じた運用方法の見直し 施設整備の検討	
				R2.4.1	R3.4.1						
3	乳幼児健診（3か月児、1歳6か月児、3歳児）の問診で、「お父さんがよく育児をしている」と答えた割合	健康課	%	61.6	64.9	65.0	A	コロナ禍における企業の在宅ワーク制度の導入などから、父親が家庭にいたことにより父親も育児に参加しやすい状況だったと考えられる	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた普及啓発 男性の家事・育児参加を促進する講座の開催	・講演会の実施 （企）男女共同参画講演会 ・講座等の開催 （健）フレッシュババママ教室（たいけん編・しよじ編） （子）子育て支援センター事業 （行事名：お父さんと遊ぼう） （生涯）親子ふれあい教室・親子ふれあいひろば	有り
				R1	R2						

判定
A：増加している
B：現状維持・減少している（コロナ要因）
C：減少しており（コロナ以外の要因）改善が必要

施策 2－1－① 安定した人材確保・雇用の創出に向けた支援

◎商工会等とも連携し、企業・事業所が安定して人材、雇用を確保できる仕組みづくりや情報発信を支援するとともに、新たな企業参入に向けた調査研究を進めます。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	企業・事業所向けアンケートにて「人材確保が できている」と答えた企業・事業所の割合	産業課 （企画政策課）	%	51.7	－	62.0	－	－	人材確保に関する支援 首都圏からの移住支援事業	ハローワークの求人情報誌を配置	
				H30	R3						
2	首都圏移住支援事業マッチングサイト登録件 数	産業課	件	2	2	7	B	事業所の認知度が低い	首都圏からの移住支援事業	町内事業者へパンフレットを送付	
				R2.10末	R3.4.1						

施策 2－1－② 働き方改革と女性の活躍推進に対する意識の醸成

◎働く人が個々の事情に応じて多様で柔軟な働き方が選択できるよう企業等へ環境整備や体制づくりを促すなど、働き方改革や女性の活躍推進に対する意識醸成を図ります。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	企業・事業所向けアンケートにて「仕事と子育ての 両立に向けた支援を行っている」と答えた企業・事業所の割合	産業課 （企画政策課）	%	56.5	－	61.0	－	－	施策 2－1－① 全て関連	施策 2－1－① 全て関連	
				H30	R3						
2	愛知県の「ファミリーフレンドリー企業」登録企業 数	産業課	社	3	3	5	B	事業所の認知度が低い	愛知県の「ファミリーフレンドリー企業」登録制度の紹介	パンフレットを配置中 町HP掲載予定	
				R2.11	R3.4						
3	国の「くるみん」および「えるぼし」に認定された企業 数	産業課	社	0	0	2	B	事業所の認知度が低い	国の女性活躍を推進する企業の認定制度「えるぼし」の紹介 国の子育てサポート企業の認定制度「くるみん」の紹介	パンフレットを配置中（えるぼし） 町HP掲載予定	
				R2.11	R3.4						

判定
A：増加している
B：現状維持・減少している（コロナ要因）
C：減少しており（コロナ以外の要因）改善が必要

施策 2-2-① まちの駅「味の蔵たけとよ」周辺の回遊性の向上

◎知多半島 5 市 4 町との連携事業等による相乗効果や、まちの駅「味の蔵たけとよ」周辺の回遊性を向上させることで、武豊町への人の流れを強化します。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	まちの駅「味の蔵たけとよ」年間来場者数	産業課	人/年	96,951	113,471	100,000	A	味の蔵たけとよのOPEN時から上昇傾向 顧客獲得、認知度向上による増加と思われる。 ①認知度向上による新規顧客の増加 （公園利用客等の立ち寄り含む） ②リピーターの増加	まちの駅「味の蔵たけとよ」の魅力発信事業 まちの駅「味の蔵たけとよ」と屋内温水プールの一体利用促進 たけとよめし推進事業（2-2-②） 工場見学等による誘客の実施検討（2-2-②） 醸造文化を核とし、歴史的な価値を活かすまちづくり事業 知多半島回遊性向上事業ちたんぶ	パンフレットを作成 定期的に全国の特産品フェアを開催 地域交流センター多目的広場整備工事 観光協会や商工会等との連携	
				R1	R2						
2	駅年間乗車人数（名鉄・JRの合計、定期以外）	産業課 （企画政策課）	千人/年	533	341	540	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、町の観光イベント等を開催することができなかったことが一つの要因だと考えられる	醸造文化を核とし、歴史的な価値を活かすまちづくり事業 工場見学等による誘客の実施検討（2-2-②）	観光協会と連携	有り
				R1	R2						
3	知多半島回遊性向上事業ちたんぶ 登録者数	産業課	人	10,481	11,749	14,000	A	①毎年実施しているため、認知度の向上によるものと考えられる ②参加する側にメリット（ポイント貯めて景品等）があるため	知多半島回遊性向上事業ちたんぶ	知多半島観光圏協議会と連携	
				R2.3.15	R3.3.28						

施策 2-2-② 武豊特有の地域資源の活用とPRの推進

◎武豊町ならではの伝統産業である味噌・たまり等のPRや、武豊町が誇る企業・事業所との連携を強化することで、地域資源の磨き上げとブランド力の向上を図ります。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	観光協会Facebookフォロワー数	産業課	人	766	765	900	B	同じ人への情報発信に留まっている	観光協会公式SNSによるまちの情報発信	イベント情報等の掲載	
				R2.11.12	R3.4.1						
2	ふるさと納税年間寄付額	産業課	万円/年	1,403	2,482	1,680	A	新型コロナウイルス感染症による影響による（全国的に通販の利用も増えている）	ふるさと納税返礼品の品目拡充	町事業者へのアプローチ	有り
				R1	R2						
3	まちの駅「味の蔵たけとよ」における、味噌・たまり関連商品の年間販売数	産業課	個/年	18,682	22,215	19,200	A	味の蔵たけとよへの来場者の増加	まちの駅「味の蔵たけとよ」の魅力発信事業（2-2-①） まちの駅「味の蔵たけとよ」と屋内温水プールの一体利用促進（2-2-①） たけとよめし推進事業 工場見学等による誘客の実施検討 醸造文化を核とし、歴史的な価値を活かすまちづくり事業（2-2-①） 知多半島回遊性向上事業ちたんぶ（2-2-①）	パンフレットを作成 定期的に全国の特産品フェアを開催 地域交流センター多目的広場整備工事 観光協会や商工会等との連携	
				R1	R2						

判定
A：増加している
B：現状維持・減少している（コロナ要因）
C：減少しており（コロナ以外の要因）改善が必要

施策 3－1－①

将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

◎新たなまちづくりの担い手の発掘と育成を促進するとともに、さまざまな住民参加の手法や広報により住民の興味・関心を高め、まちづくりのすそ野を広げます。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	公募の住民が参加できる会議等の件数	企画政策課	件/年	5	6	10	A	町民と協働による会議の増加	住民が参加できる会議等への若い世代や子育て世代の参加促進 SNSや広報紙を活用したまちづくり活動の紹介	町民との協働による会議の開催の促進の検討	
				R1	R2						
2	町が主体となって実施するワークショップへの参加者数（延べ人数/年）	企画政策課	人/年	67	35	90	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響によるワークショップの開催回数減少、中止等	住民が参加できる会議等への若い世代や子育て世代の参加促進 SNSや広報紙を活用したまちづくり活動の紹介 日本福祉大学の学生との交流・まちづくり活動への参画促進	新型コロナウイルス拡大防止策やリモート会議等の検討 広報・HP等でのワークショップ募集のPR	有り
				R1	R2						
3	「協働のまちづくり連続講座」参加者数（累計）	企画政策課	人	161	161	241	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により講座がすべて中止となったため	「協働のまちづくり連続講座」の推進／リニューアル 日本福祉大学の学生との交流・まちづくり活動への参画促進	広報・HP等での事業及び参加者募集のPR 日本福祉大学との連携	有り
				H25～R1	H25～R2						

施策 3－1－②

多様な主体と連携したまちづくりの推進

◎NPOやボランティア団体だけでなく、金融機関、大学、民間企業のノウハウや資金の活用など、多様な主体とのパートナーシップによるまちづくりを推進します。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	提案型協働事業交付金の採択件数（累計）	企画政策課	件	34	39	54	A	継続実施団体（3団体）に加え新規団体が2団体増えた	提案型協働事業交付金制度の推進／リニューアル	広報・HP等での事業及び事業募集のPR 提案型協働事業参加団体の育成（大学等）	
				R2.4.1	R3.4.1						
2	包括連携協定に基づき実施した事業数	企画政策課	事業	13	10	20	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が一部中止となった	包括連携協定締結先との連携強化／新規協定締結の促進 民間活力による地域課題の解決に向けた調査研究	包括協定先へ各課の要望等の連絡調整、実績の管理	有り
				R1	R2						
3	企業版ふるさと納税制度の活用事業数（累計）	企画政策課	事業	0	0	1	B	現在制度の整備を進めている（9月末ごろよりスタート予定）	企業版ふるさと納税制度の周知と活用検討	企業版ふるさと納税制度対象事業の選定	
				R2.11.13	R3.4.1						

施策 3－1－③

健康で楽しく暮らせ、生涯活躍できるまちづくりの推進

◎高齢化の進展を見据えて、青年期から楽しく健康づくりに取り組める環境整備を推進するとともに、誰もが生涯にわたり活躍できるまちの実現を目指します。

	《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 （計画策定時）	実績値 （R3確認）	目標値	判定	考えられる原因	取組に関すること		
				測定日又は年度	測定日又は年度	（R7）			具体的な事業・取組	実施中の内容（予定含む）	新型コロナウイルス 感染症の影響
1	アンケート（町民意識調査）にて、「普段から健康に心がけている」と答えた人の割合	健康課 （企画政策課）	%	83.9	－	85.0	－	－	施策 3－1－③ 全て関連	施策 3－1－③ 全て関連	
				H30	R3						
2	憩いのサロンボランティア登録者数	福祉課	人	328	321	338	B	新型コロナウイルス感染拡大により、サロンの開催自体が縮小している	憩いのサロン事業への参加促進と担い手の発掘、育成	憩いのサロン事業への参加促進と担い手の発掘、育成	有り
				R2.2	R3.3						
3	18～39歳の国民健康保険加入者のうち、あおば検診を受診した人の割合	健康課 （保険医療課）	%/年	33.1	－	毎年33.1以上	－	－	施策 3－1－③ 全て関連	施策 3－1－③ 全て関連	
				R3.1～2	R4.1～2						

判定
A：増加している
B：現状維持・減少している（コロナ要因）
C：減少しており（コロナ以外の要因）改善が必要